

国保税率やむなくアッ

合併前の基金取りくずしひびく

0万円も落ち込んだこと、さらに収納率も合併協推計より低い92・8%しか見込めないことなどにより、合わせて1億7400万円の税額が合併協推計より不足することとなりました。

そのため平成18年度国保税率のアップせざるをえない状況となり、医療給付分で市民1人平均前年度に比べて5000円程高い5万9259円に、介護納付分で6600円程高い2万1206円となりました。

市では今後、市民の健康を守るため「健康の駅」事業を旧町村に拡大させていきたいと考えてあり、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という気概をもち、医療費の適正化に努める姿勢が必要な時代が到来したと言えます。

指定管理者制への移行 さらに進む

市ではこれまで18の施設について受託管理者制度からの移行作業を進めてきましたが、法律の実施期限である平成18年9月を目前に控え、6月議会においては集落多目的共同利用施設や農村公園を主としてさらに103施設について指定管理者制への移行を決めました。

これら指定管理者制度に伴う年平均の債務負担額は5469

万円（55施設）となっており、これまでの受託管理制に比べマインス5・28%、額にして約300万円の歳出減が見込まれています。

雄水苑・白寿園が 増築工事

特別養護老人ホーム雄水苑30床（契約金額2億6250万円、請負業者株式会社東翔）と白寿園20床（契約金額1億5750万円、請負業者株式会社大和組）を増床するための工事請負契約が議決され、いよいよ工事がスタートすることになりました。

新たに市振興基金を設置

市では、当初合併特例債を工事の財源に充てる予定でしたが、急遽、過疎債を充てることとなったため、横手市過疎地域自立促進計画（通称、過疎計画）の変更についても提案され、議決されています。

この市振興基金は合併特例債を原資としており本年度から年4億円、10ヶ年で計40億円を積み立てようとするものです。運用した金利は、地域振興や旧8市町村の均衡ある発展にかかわるソフト事業に使用するものです。

10月1日を 市制施行記念日に

昨年10月1日の新横手市の発足に鑑み、毎年10月1日を記念日とすることが決まりました。これにあわせ、横手市名誉市民条例と横手市表彰条例も可決成立しています。

人権擁護委員を決定

次の人事案件について、全会一致で決定しました。
●人権擁護委員候補者
織田智恵子氏（61・増田）

永年勤続議員に 柿崎・赤川の両氏



永年勤続議員として柿崎実氏（64・写真左）と赤川堅一郎氏（73・写真右）が全国市議会議長会から表彰され、6月定例会初日の本会議において表彰状の伝達が行なわれました。柿崎氏は20年、赤川氏は15年の長きにわたって市議会議員として活躍され、このたびの受賞となったものです。

5月臨時会

5月9日に5月臨時市議会が開催され、報告7件、市税賦課徴収条例の一部を改正する条例などを専決処分した承認案件8件、一般会計補正予算（第2号）などの議案3件を原案のとおり可決しました。

今臨時市議会では、市職員の不祥事が相次いだことから、市の使用者としての責任を明らかにし自らを律するため、市長、助役の給与を平成18年6月1日から6月30日までの1か月間、百分の十減額する条例が提案され、賛成多数で可決されました。ちなみに、市長は73万8000円、助役は59万2200円となりました。

また、議会推薦の農業委員を選出し閉会しました。

- 農業委員（議会推薦）
- 高橋せつ氏（増田地区）
- 野中長一氏（山内地区）
- 齋藤光司氏（議員・十文字地区）
- 阿部信孝氏（議員・横手地区）

